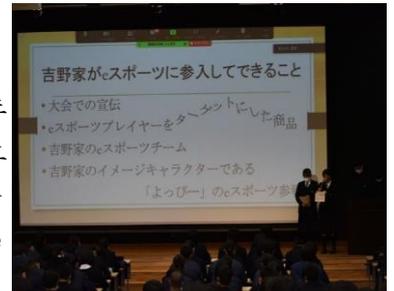


2月1日発行の広報誌「かとう」には「うまいもん甲子園」決勝大会の記事も中程に掲載されており、NO. 64でもお知らせしたところですが、さらに写真入りで発表会の様子を伝えていただきました。とても生徒たちの励みになると思います。ありがとうございます。



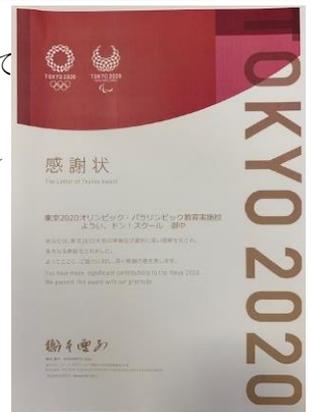
また、2年生が総合的な探究の時間で取り組んできた各企業へのミッションですが、吉野家のミッションにチャレンジした2年7組の「eスポーツでグローバル化」がクエストカップ2022全国大会ファーストステージへの進出を決め、2月19日オンラインでのプレゼンに臨むことになりました。YouTubeでも配信されるそうです(<https://questcup.jp/>)。セカンドステージ出場に向けて頑張ってください。



生活科学科の富澤先生が兵庫県優秀教職員表彰を受賞されました。地方創生☆政策アイデアコンテストでの優秀賞受賞や「うまいもん甲子園」全国大会出場など地方創生に関わる生徒の課題研究への指導及びHYOGOスクールエバンジェリストとしてICTを活用した家庭科教育の進め方を県下の家庭科教員に広め、また初めて教員になった先生方にICT活用方法を紹介した実績を評価されての受賞です。おめでとうございます。また今後の活躍に期待しています。よろしくお祈りします。



また、2018年度から継続されてきた東京2020オリンピック・パラリンピック教育推進校としてオリンピック経験者、競技団体代表者や障害者スポーツ第一人者の方々をお招きして講演会を行ってきたことに対して組織委員会から感謝状が届きました。東京大会はコロナ禍で行われた大会として今行われている北京冬季大会と同様記憶に残る大会となるでしょう。個々に関わる方々の講演を聞くことができたことは大会を身近に感じる事ができたと思います。また、この事業でお越しいただいた岡本圭司氏が北京パラリンピックスノーボードに出場されることは前号でもお伝えしました。ニュース等でも伝わってくるかと思いますが、関心をもって応援しましょう。



2月4日・5日は柔道部が和歌山県で行われた近畿高校新人大会団体の部に出場してきました。男子はベスト8に入り、女子は優勝した比叡山高校に敗れベスト16でした。団体は階級が影響するため、それぞれの学校が工夫してメンバーを組んできます。女子は初めて2年生3人でメンバーが組めました。この経験を活かし

地力を付けてさらなる向上を目指し、県総体に向けて頑張っていきたいと思います。お疲れ様でした。

2月6日の神戸新聞北播版には、1年総合的な探究の時間で考えた「加東市への提言」について加東市長とのタウンミーティングを行った際の内容が掲載されました。オンラインで行ったためその映像の一部が紹介され、高校生の提案を市長がしっかりと聞いていただけた様子が伝わりました。実現可能にしていけるためにも私たちの意識をしっかりと高め、関心を持ち続けることが大切です。生徒の皆さんの出身地は加東市だけではないので、それぞれの出身地の市町の課題についても関心を持ち、地域の活性化について皆さんの目線で考えてほしいと思います。よろしくお祈りします。



また2月3日から推薦入試、特色選抜入試の願書受付が始まり、7日12時に締め切られました。本校の定員は体育科40名、生活科学科20名(一般入試でも20名)、看護医療類型の特色選抜が24名となっています。その定員に対して体育科は59名、生活科学科は40名、看護医療類型は24名の出願がありました。新

型コロナ感染拡大が落ち着かない中、受検生も、保護者の方々、中学校の先生方も随分と気を遣われていることと思いますし、不安に感じられていることがあろうかと思いますが、体調管理に気をつけられ、当日力を発揮していただくことを期待しております。本校も体制を整え、受検生を迎えたいと思っています。

前から一度行きたかった加西市にある鶉野飛行場跡地に行きました。第1・第3日曜日には原寸大の「紫電改」の模型が展示されているということで、操縦席なども含めて見ることができました。今も世界各地で紛争が起きていることを考えれば、日本の敗戦の経験から学んだことを語り継ぎ、平和を維持することがどれだけ大切かを考えるきっかけにもなります。



跡地近くの道路沿いには、回りを土手で囲んだところに同じような機体も展示されていました。沖縄のひめゆりの塔、鹿児島島の知覧に行ったときに当時高校生位の年齢であった人たちが書き残した日記や遺書らしきものを読んだことがあります。当時の日本がどのような状態であったのか、どのような生活を強いられたのか、どんな思いでそういったことを受け入れていたのかを知り、私たちが今後考えねばならないことや大事にしなければならぬものなど思いを巡らせることが大切だということこの展示を見て改めて実感しました。私たちの身の回りには、こういった考えさせられるもの、またあまり知られていないかも知れないけど素晴らしいものが数多くあるように思います。地域、地元を知るという意味でも回りのそういった物に目を向けるということも時には必要だと感じた次第です。

新型コロナ感染拡大は収束が見えず、学校、家庭にも広がりを見せてきました。感染を広げないためには、密を避ける(距離をとる)、マスクを外すときのマナーを守る(日常生活ではマスク着用を意識する)、手洗いをしっかりとする、閉ざされた空間では換気を心がけることを徹底することです。みんなで予防対策をしっかりと意識して、協力してこの難局を乗り越えましょう。

※体育科スキー実習、生活科学科の校外実習は現状、実施が難しくなりましたので延期をさせていただきます。また、クラスで複数名の感染が確認された1クラスを学級閉鎖としました。(2/8~12)改めて感染防止に関する注意喚起をしたところです。ご協力よろしくお願いします。